

Project 2

全4時間／2月／教科書 pp.75-79

感謝の気持ちを伝えよう。

1 単元目標

- ・感謝の気持ちの伝える言い方を理解することができる。
- ・感謝の気持ちを伝えることができる。
- ・他者に配慮しながら、感謝の気持ちを伝えようとする。

※Projectは教科書では児童用に『めあて』として活動別の目標を設定しているが、ここでは評価用として3観点別の『単元目標』を設定している。

2 言語材料

To ～ .

Thank you for ～ .

Please take care of yourself.

From ～ .

【既出】 I like ～ . **5年L1**

You can ～ . **6年L3**

I enjoyed ～ . **6年L6**

My favorite memory is ～ . **6年L9**

3 単元観

小学校を卒業するにあたり、お世話になった人にことばや行動で感謝の気持ちを伝えることを目標とした単元である。Lesson 9 My Favorite Memoryと関連づけて、感謝の気持ちをより自分らしく伝えようとするさまざまな言語活動を通して、児童が所属するクラスやグループの一員としての誇りを持って、スキットを考えて作成・発表し、感謝の手紙を書いて渡したりする展開を通して、思考・判断・表現する力を養うことができる。

6年生のこの時期は、「感謝」をテーマに教科領域を統合的に扱うことが多い。国語や道徳を中心に英語でも感謝の気持ちを伝えられる場として有効である。

4 領域別目標と学習指導要領との関連

聞くこと	感謝の気持ちを伝えることばや話を聞いて、理解することができる。	ウ
読むこと	感謝の手紙を推測しながら読むことができる。	イ
話すこと (やり取り)	感謝の気持ちを伝え合うことができる。	ウ
話すこと (発表)	感謝の気持ちを伝えることができる。	ウ
書くこと	例文を参考にしながら、感謝の気持ちを伝える手紙を書き写すことができる。	イ

5 単元計画

◆=目標, 【 】=紙面にある活動

時	単元目標と主な活動	評価の観点
1	<p>◆感謝の気持ちを伝える言い方を理解することができる。</p> <p>【 Let's Listen 】 p.76 ・ 会話を聞いて、内容と合っている絵を選ぶ。</p> <p>【 Let's Play 1 】 p.77 ①ペアになり、スキットにする場面を選んで内容を考える。 ②英語でスキットを作る。</p>	感謝の気持ちを伝える表現を理解しているか、次時と合わせて評価する。
2	<p>◆感謝を伝える場面のスキットを、気持ちを込めて発表することができる。</p> <p>【 Let's Play 2 】 p.77 ・ できたスキットを発表する。</p>	<p>感謝の気持ちを伝えることばを使って、やり取りすることができる。〈行動観察〉</p> <p>思・判・表 主</p> <p>話すこと(やり取り) ウ</p>
3	<p>◆感謝の気持ちを伝える手紙を書くことができる。</p> <p>【 Let's Read and Write 】 p.78 ・ p.78の手紙を声に出して読む。</p> <p>【 Let's Read and Write 】 p.78 ①作ったスキットを生かして、お世話になった人にグループで感謝の手紙を書く。 ②自分で感謝の手紙を書く。</p>	<p>感謝の気持ちを伝える手紙を推測して読んだり、書いたりすることができる。〈書き込み点検〉</p> <p>思・判・表 主</p> <p>読むこと イ</p>
4	<p>◆感謝の気持ちを伝えることができる。</p> <p>【 Let's Try 】 p.78 ・ お世話になった人に感謝の気持ちを伝え、手紙を渡す。</p>	<p>感謝の気持ちを伝えることができる。〈行動観察〉</p> <p>思・判・表 主</p> <p>話すこと(発表) ウ</p>

6 各活動の評価規準項目一覧

	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと			
読むこと	LRW	LRW	LRW
話すこと(やり取り)	LP2	LP2	LP2
話すこと(発表)	LT	LT	LT
書くこと	LRW	LRW	LRW